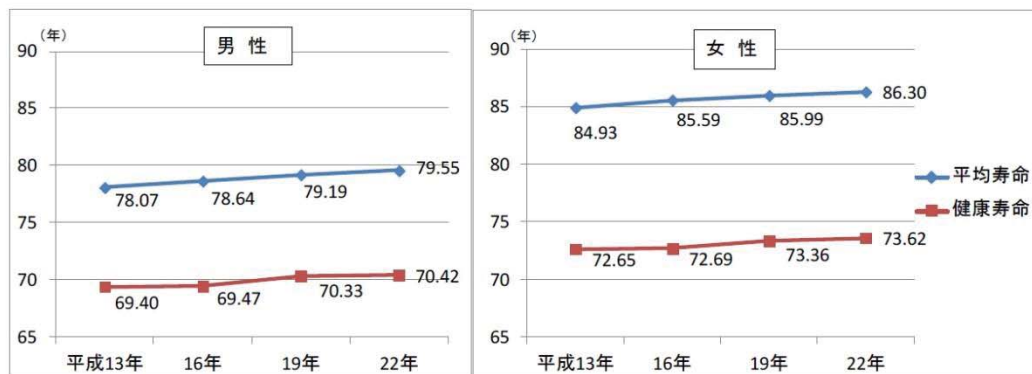
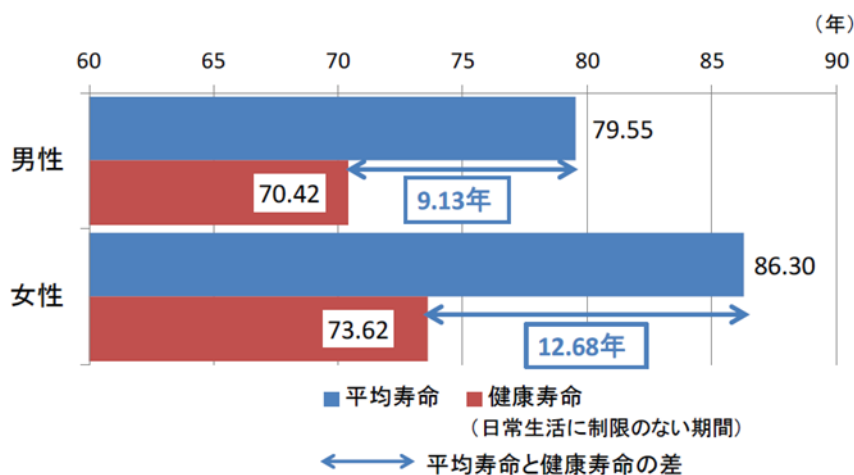


平均寿命と健康寿命の推移



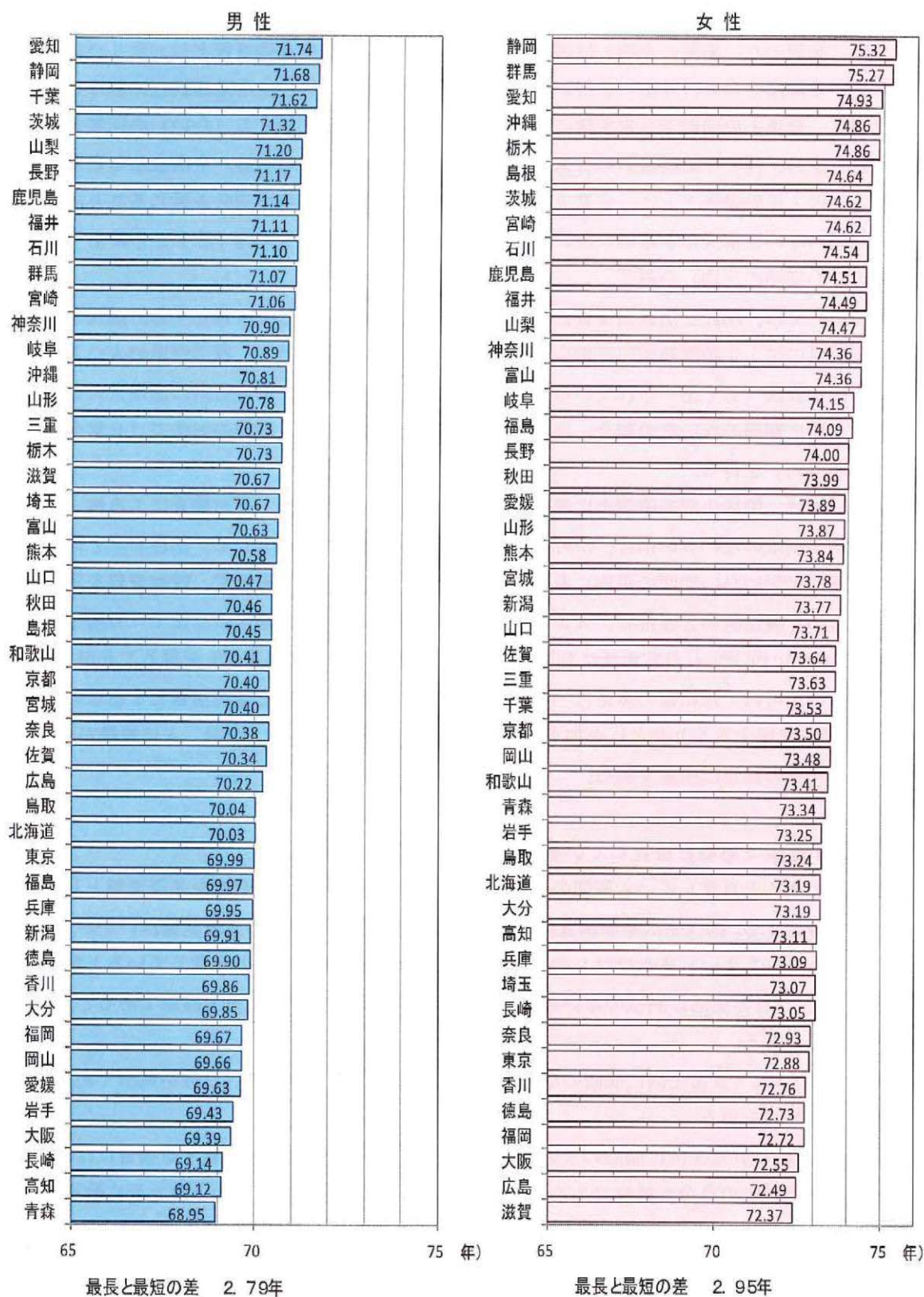
(資料：平均寿命は、平成 13、16、19 年は、厚生労働省「簡易生命表」、平成 22 年は「完全生命表」健康寿命は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」)

平均寿命と健康寿命の差



(資料：平均寿命 (平成 22 年) は、厚生労働省「平成 22 年完全生命表」健康寿命 (平成 22 年) は、厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」)

図 4 都道府県別 日常生活に制限のない期間の平均（平成 22 年）



(資料：厚生労働科学研究費補助金「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」)

神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、
健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生に対する
企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

平成28年1月

一般財団法人 日本開発構想研究所

神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、
健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生に対する
企業等の採用意向に関するアンケート調査報告

1. 調査概要

(1) 調査目的

平成 29 年 4 月に予定している神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の収容定員を増加する計画にあたり、神戸女子大学卒業生の採用実績のある企業等、または卒業生の就職が見込まれる、43 都道府県（青森県、岩手県、秋田県、沖縄県を除く全都道府県）に所在する企業等の採用担当者にアンケートを実施し、神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生に対する企業等の採用意向を把握することを目的とする。

(2) 調査対象

神戸女子大学卒業生の採用実績のある企業等、または卒業生の就職が見込まれる、1,921 件の企業等の採用担当者にアンケートへの協力を依頼し、428 件の有効回答があった。

(3) 調査方法

神戸女子大学卒業生の採用実績のある企業、または卒業生の就職が見込まれる、1,921 件の調査対象企業等の採用担当者にアンケート用紙及び神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の概要を示したリーフレットを送付し、アンケートを実施した。回答は一般財団法人日本開発構想研究所へ企業等から直接郵送。

集計結果より、神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生に対する採用意向を分析した。

(4) 調査実施期間

平成 27 年 11 月～平成 28 年 1 月

(5) 有効回収率等

配布数 : 1,921 件

有効回答数 : 428 件

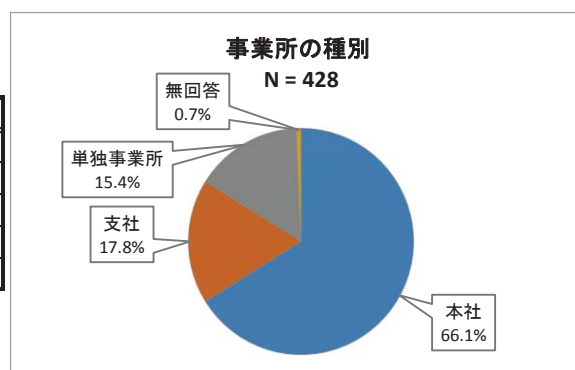
有効回収率 : 約 22.3%

2. 調査結果

(1) 事業所の種別について

事業所の種別について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「本社」が 283 件（66.1%）と最も多く、次いで「支社」76 件（17.8%）、「単独事業所」66 件（15.4%）、「無回答」3 件（0.7%）の順になっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	本社	283	66.1
2	支社	76	17.8
3	単独事業所	66	15.4
	無回答	3	0.7
	N (%ベース)	428	100

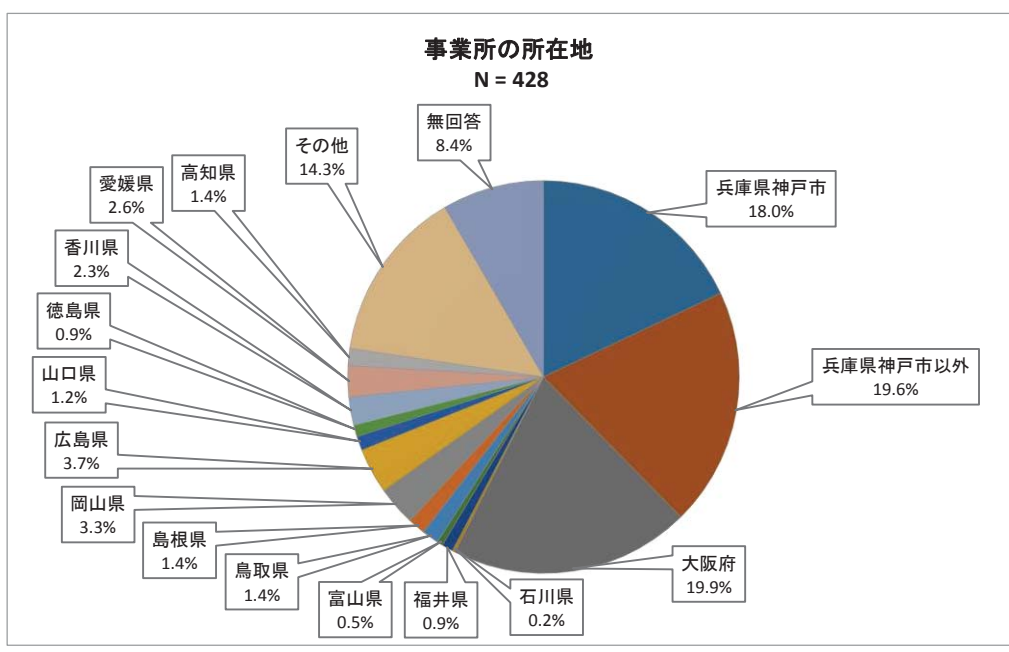


(2) 事業所の所在地について

事業所の所在地について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「大阪府」が 85 件 (19.9%) と最も多く、次いで「兵庫県神戸市以外」84 件 (19.6%)、「兵庫県神戸市」77 件 (18.0%)、「その他」61 件 (14.3%)、「無回答」36 件 (8.4%)、「広島県」16 件 (3.7%)、「岡山県」14 件 (3.3%)、「愛媛県」11 件 (2.6%)、「香川県」10 件 (2.3%)、「鳥取県」6 件 (1.4%)、「島根県」6 件 (1.4%)、「高知県」6 件 (1.4%)、「山口県」5 件 (1.2%)、「福井県」4 件 (0.9%)、「徳島県」4 件 (0.9%)、「富山県」2 件 (0.5%)、「石川県」1 件 (0.2%) の順になっている。

事業所の所在地

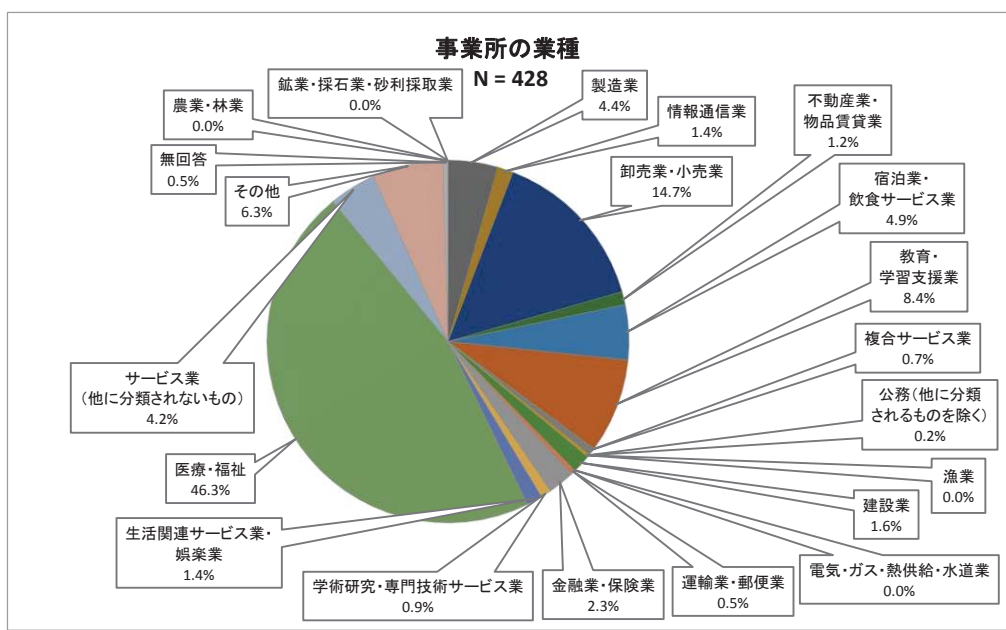
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	兵庫県神戸市	77	18.0
2	兵庫県神戸市以外	84	19.6
3	大阪府	85	19.9
4	石川県	1	0.2
5	福井県	4	0.9
6	富山県	2	0.5
7	鳥取県	6	1.4
8	島根県	6	1.4
9	岡山県	14	3.3
10	広島県	16	3.7
11	山口県	5	1.2
12	徳島県	4	0.9
13	香川県	10	2.3
14	愛媛県	11	2.6
15	高知県	6	1.4
16	その他	61	14.3
	無回答	36	8.4
	N (%ベース)	428	100



(3) 事業所の業種について

事業所の業種について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、5 件以上のものを挙げると、「医療・福祉」が 198 件（46.3%）と最も多く、次いで「卸売業・小売業」63 件（14.7%）、「教育・学習支援業」36 件（8.4%）、「その他」27 件（6.3%）、「宿泊業・飲食サービス業」21 件（4.9%）、「製造業」19 件（4.4%）、「サービス業（他に分類されないもの）」18 件（4.2%）、「金融業・保険業」10 件（2.3%）、「建設業」7 件（1.6%）、「情報通信業」6 件（1.4%）、「生活関連サービス業・娯楽業」6 件（1.4%）、「不動産業・物品賃貸業」5 件（1.2%）の順になっている。

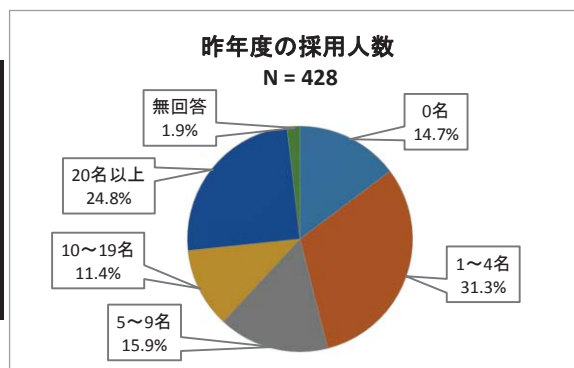
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農業・林業	0	0.0
2	鉱業・採石業・砂利採取業	0	0.0
3	製造業	19	4.4
4	情報通信業	6	1.4
5	卸売業・小売業	63	14.7
6	不動産業・物品賃貸業	5	1.2
7	宿泊業・飲食サービス業	21	4.9
8	教育・学習支援業	36	8.4
9	複合サービス業	3	0.7
10	公務(他に分類されるものを除く)	1	0.2
11	漁業	0	0.0
12	建設業	7	1.6
13	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0
14	運輸業・郵便業	2	0.5
15	金融業・保険業	10	2.3
16	学術研究・専門技術サービス業	4	0.9
17	生活関連サービス業・娯楽業	6	1.4
18	医療・福祉	198	46.3
19	サービス業(他に分類されないもの)	18	4.2
20	その他	27	6.3
	無回答	2	0.5
	N (%ベース)	428	100



(4) 昨年度の採用人数について

昨年度の採用人数について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「1～4 名」が 134 件 (31.3%) と最も多く、次いで「20 名以上」106 件 (24.8%)、「5～9 名」68 件 (15.9%)、「0 名」63 件 (14.7%)、「10～19 名」49 件 (11.4%)、「無回答」8 件 (1.9%) の順になっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0名	63	14.7
2	1～4名	134	31.3
3	5～9名	68	15.9
4	10～19名	49	11.4
5	20名以上	106	24.8
	無回答	8	1.9
	N (%ベース)	428	100

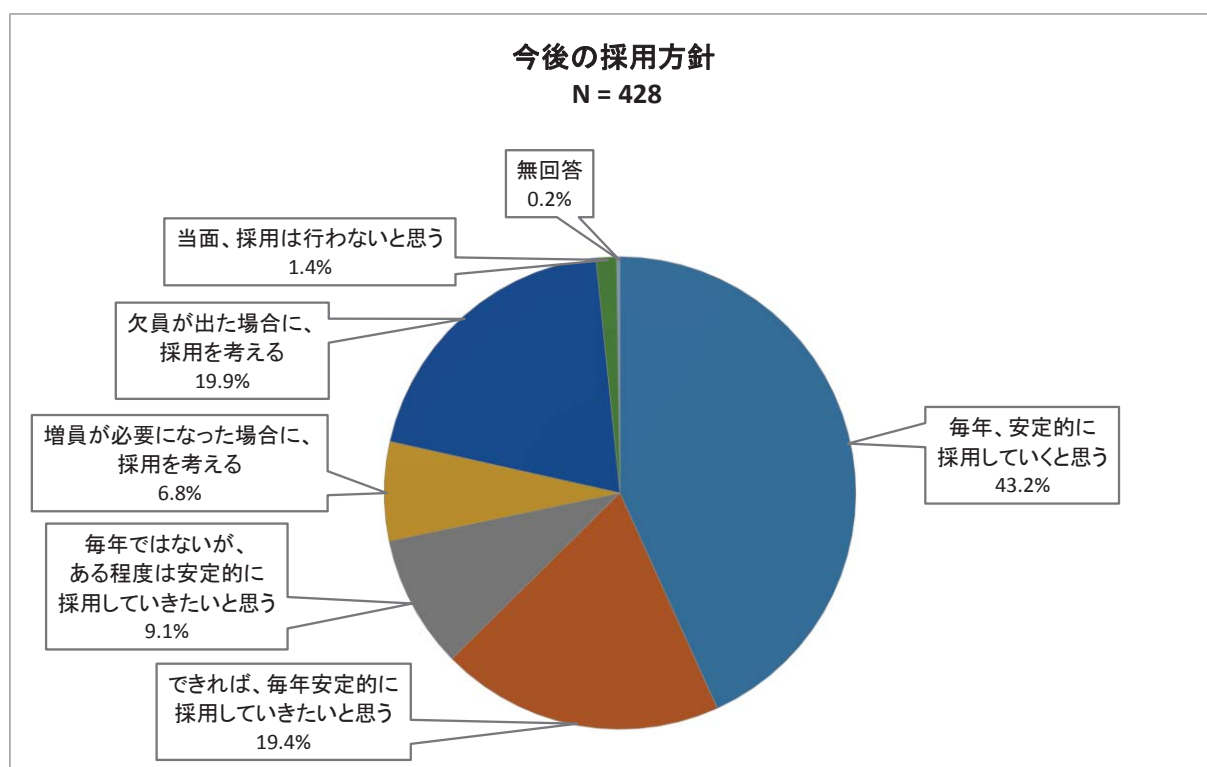


(5) 今後の採用方針について

今後の採用方針について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「毎年、安定的に採用していくと思う」が 185 件（43.2%）と最も多く、次いで「欠員が出た場合に、採用を考える」85 件（19.9%）、「できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う」83 件（19.4%）、「毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う」39 件（9.1%）、「増員が必要になった場合に、採用を考える」29 件（6.8%）、「当面、採用は行わないと思う」6 件（1.4%）、「無回答」1 件（0.2%）の順になっている。

今後の採用方針

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	185	43.2
2	できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う	83	19.4
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う	39	9.1
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	29	6.8
5	欠員が出た場合に、採用を考える	85	19.9
6	当面、採用は行わないと思う	6	1.4
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	428	100



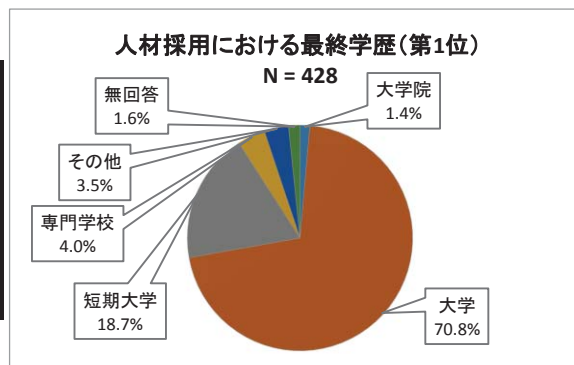
(6) 人材採用における最終学歴について

6-1 人材採用における最終学歴（第1位）について

人材採用における最終学歴（第1位）について調査したところ、回答のあった企業等 428 件のうち、「大学」が 303 件（70.8%）と最も多く、次いで「短期大学」80 件（18.7%）、「専門学校」17 件（4.0%）、「その他」15 件（3.5%）、「無回答」7 件（1.6%）、「大学院」6 件（1.4%）の順になっている。

人材採用における最終学歴(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	6	1.4
2	大学	303	70.8
3	短期大学	80	18.7
4	専門学校	17	4.0
5	その他	15	3.5
	無回答	7	1.6
	N (%ベース)	428	100

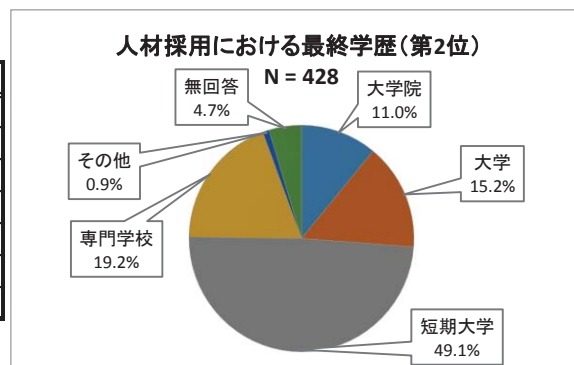


6-2 人材採用における最終学歴（第2位）について

人材採用における最終学歴（第2位）について調査したところ、回答のあった企業等 428 件のうち、「短期大学」が 210 件（49.1%）と最も多く、次いで「専門学校」82 件（19.2%）、「大学」65 件（15.2%）、「大学院」47 件（11.0%）、「無回答」20 件（4.7%）、「その他」4 件（0.9%）の順になっている。

人材採用における最終学歴(第2位)

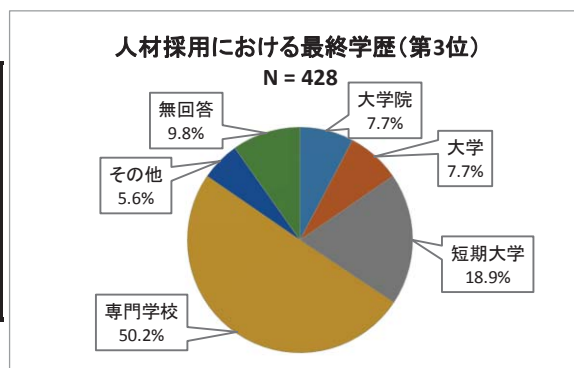
No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	47	11.0
2	大学	65	15.2
3	短期大学	210	49.1
4	専門学校	82	19.2
5	その他	4	0.9
	無回答	20	4.7
	N (%ベース)	428	100



6-3 人材採用における最終学歴（第3位）について

人材採用における最終学歴（第3位）について調査したところ、回答のあった企業等 428 件のうち、「専門学校」が 215 件（50.2%）と最も多く、次いで「短期大学」81 件（18.9%）、「無回答」42 件（9.8%）、「大学院」33 件（7.7%）、「大学」33 件（7.7%）、「その他」24 件（5.6%）の順になっている。

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	33	7.7
2	大学	33	7.7
3	短期大学	81	18.9
4	専門学校	215	50.2
5	その他	24	5.6
	無回答	42	9.8
	N (%ベース)	428	100



(7) 人材を採用する際に重視する点について（複数回答）

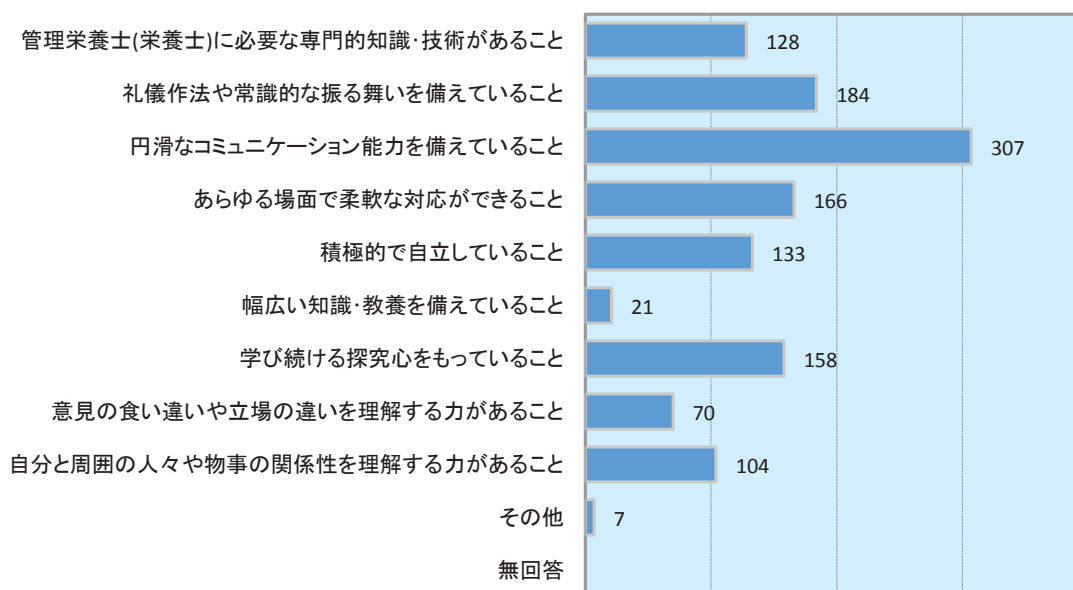
人材を採用する際に重視する点について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「円滑なコミュニケーション能力を備えていること」が 307 件（71.7%）と最も多く、次いで「礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること」184 件（43.0%）、「あらゆる場面で柔軟な対応ができること」166 件（38.8%）、「学び続ける探究心をもっていること」158 件（36.9%）、「積極的で自立していること」133 件（31.1%）、「管理栄養士(栄養士)に必要な専門的知識・技術があること」128 件（29.9%）、「自分と周囲の人々や物事の関係性を理解する力があること」104 件（24.3%）、「意見の食い違いや立場の違いを理解する力があること」70 件（16.4%）、「幅広い知識・教養を備えていること」21 件（4.9%）、「その他」7 件（1.6%）の順になっている。

人材を採用する際に重視する点(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	管理栄養士(栄養士)に必要な専門的知識・技術があること	128	29.9
2	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	184	43.0
3	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	307	71.7
4	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	166	38.8
5	積極的で自立していること	133	31.1
6	幅広い知識・教養を備えていること	21	4.9
7	学び続ける探究心をもっていること	158	36.9
8	意見の食い違いや立場の違いを理解する力があること	70	16.4
9	自分と周囲の人々や物事の関係性を理解する力があること	104	24.3
10	その他	7	1.6
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	428	100

人材を採用する際に重視する点(複数回答)

N = 428

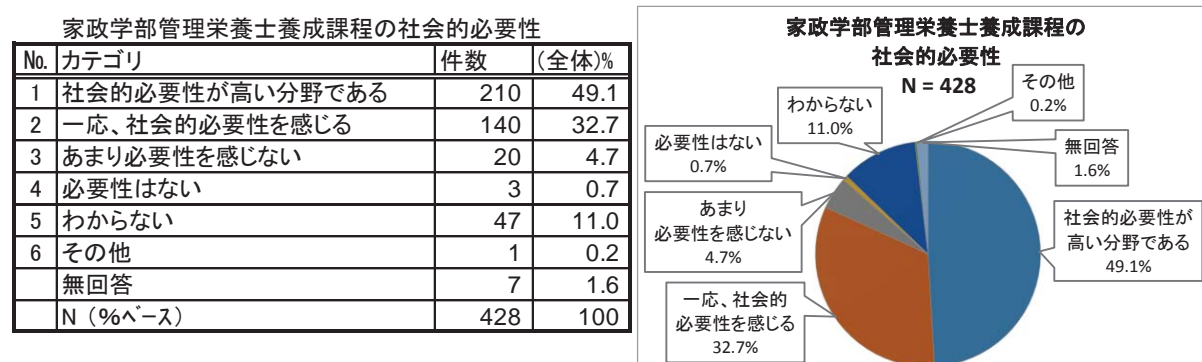


(8) 収容定員増を計画している学部・学科（課程）の社会的必要性について

8-1 家政学部管理栄養士養成課程の社会的必要性について

神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が 210 件（49.1%）と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」140 件（32.7%）、「わからない」47 件（11.0%）、「あまり必要性を感じない」20 件（4.7%）、「無回答」7 件（1.6%）、「必要性はない」3 件（0.7%）、「その他」1 件（0.2%）の順になっている。

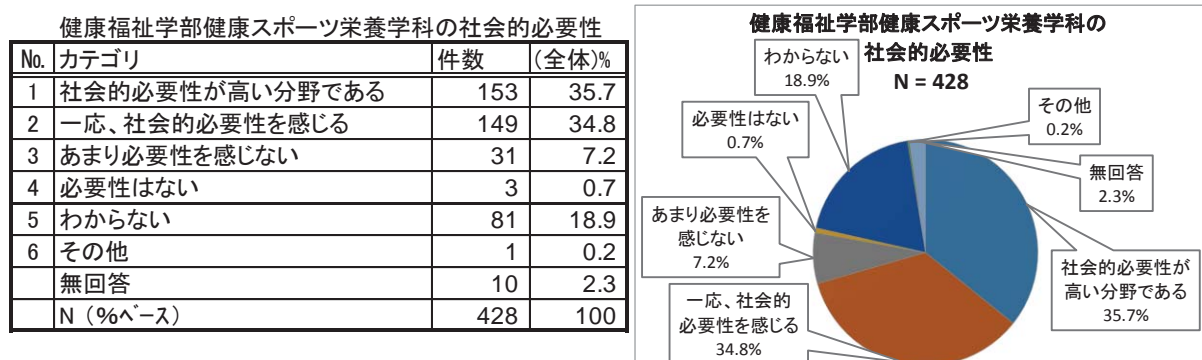
なお、神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、350 件（81.8%）となっている。



8-2 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の社会的必要性について

神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の社会的必要性について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「社会的必要性が高い分野である」が 153 件（35.7%）と最も多く、次いで「一応、社会的必要性を感じる」149 件（34.8%）、「わからない」81 件（18.9%）、「あまり必要性を感じない」31 件（7.2%）、「無回答」10 件（2.3%）、「必要性はない」3 件（0.7%）、「その他」1 件（0.2%）の順になっている。

なお、神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科について、「社会的必要性が高い分野である」、「一応、社会的必要性を感じる」の肯定的な回答を合算すると、302 件（70.5%）となっている。



(9) 収容定員増を計画している学部・学科（課程）の興味のある特色（複数回答）

9-1 家政学部管理栄養士養成課程の興味のある特色（複数回答）

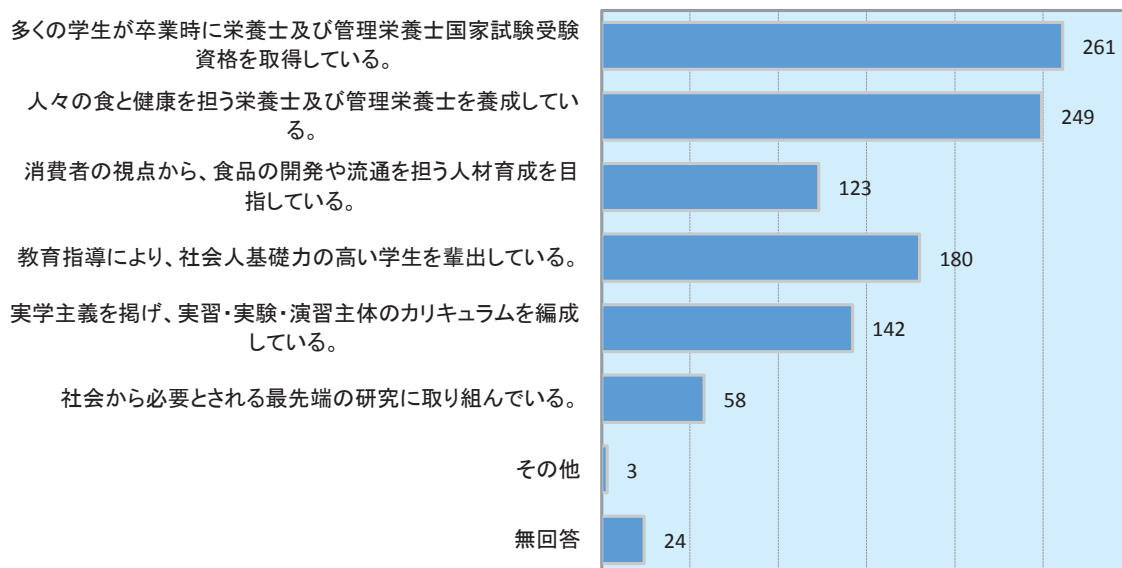
神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程の興味のある特色について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「多くの学生が卒業時に栄養士及び管理栄養士国家試験受験資格を取得している。」が 261 件（61.0%）と最も多く、次いで「人々の食と健康を担う栄養士及び管理栄養士を養成している。」249 件（58.2%）、「教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している。」180 件（42.1%）、「実学主義を掲げ、実習・実験・演習主体のカリキュラムを編成している。」142 件（33.2%）、「消費者の視点から、食品の開発や流通を担う人材育成を目指している。」123 件（28.7%）、「社会から必要とされる最先端の研究に取り組んでいる。」58 件（13.6%）、「無回答」24 件（5.6%）、「その他」3 件（0.7%）の順になっている。

家政学部管理栄養士養成課程の興味のある特色(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	多くの学生が卒業時に栄養士及び管理栄養士国家試験受験資格を取得している。	261	61.0
2	人々の食と健康を担う栄養士及び管理栄養士を養成している。	249	58.2
3	消費者の視点から、食品の開発や流通を担う人材育成を目指している。	123	28.7
4	教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している。	180	42.1
5	実学主義を掲げ、実習・実験・演習主体のカリキュラムを編成している。	142	33.2
6	社会から必要とされる最先端の研究に取り組んでいる。	58	13.6
7	その他	3	0.7
	無回答	24	5.6
	N (%ベース)	428	100

家政学部管理栄養士養成課程の興味のある特色(複数回答)

N = 428



9-2 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の興味のある特色（複数回答）

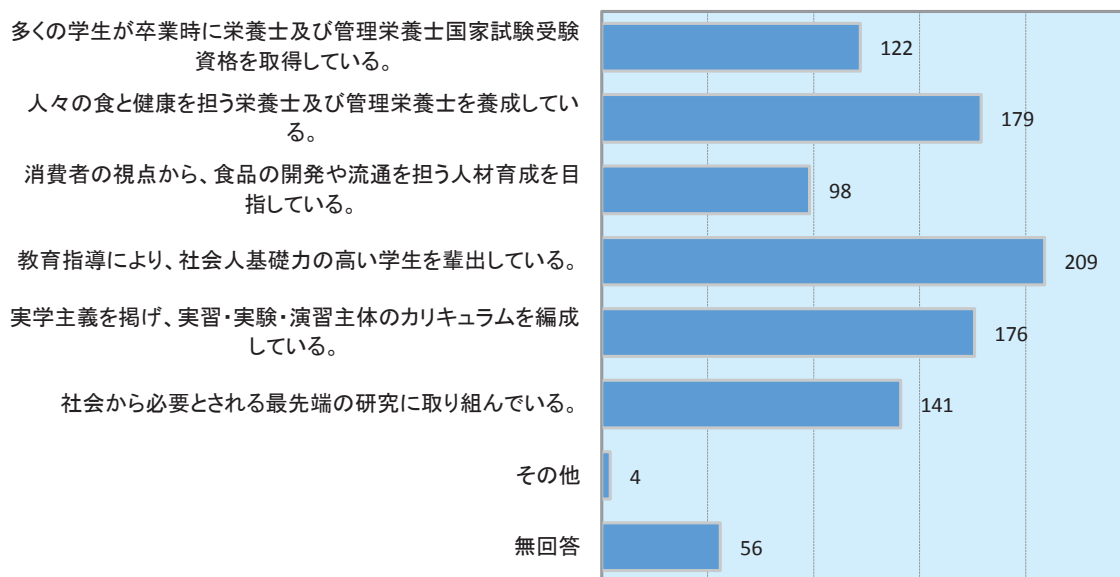
神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の興味のある特色について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している。」が 209 件（48.8%）と最も多く、次いで「人々の食と健康を担う栄養士及び管理栄養士を養成している。」179 件（41.8%）、「実学主義を掲げ、実習・実験・演習主体のカリキュラムを編成している。」176 件（41.1%）、「社会から必要とされる最先端の研究に取り組んでいる。」141 件（32.9%）、「多くの学生が卒業時に栄養士及び管理栄養士国家試験受験資格を取得している。」122 件（28.5%）、「消費者の視点から、食品の開発や流通を担う人材育成を目指している。」98 件（22.9%）、「無回答」56 件（13.1%）、「その他」4 件（0.9%）の順になっている。

健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の興味のある特色（複数回答）

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	多くの学生が卒業時に栄養士及び管理栄養士国家試験受験資格を取得している。	122	28.5
2	人々の食と健康を担う栄養士及び管理栄養士を養成している。	179	41.8
3	消費者の視点から、食品の開発や流通を担う人材育成を目指している。	98	22.9
4	教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している。	209	48.8
5	実学主義を掲げ、実習・実験・演習主体のカリキュラムを編成している。	176	41.1
6	社会から必要とされる最先端の研究に取り組んでいる。	141	32.9
7	その他	4	0.9
	無回答	56	13.1
	N (%ベース)	428	100

健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の興味のある特色（複数回答）

N = 428



(10) 収容定員増を計画している学部・学科（課程）の卒業生の採用意向について

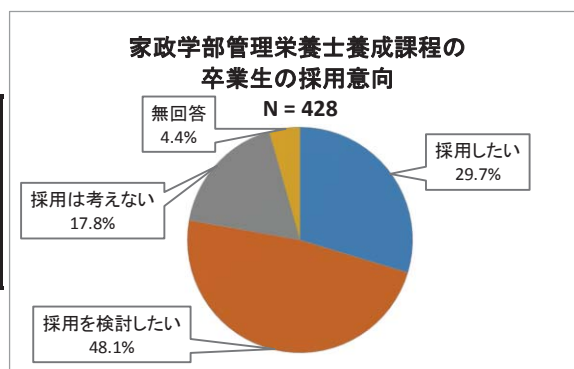
10-1 家政学部管理栄養士養成課程の卒業生の採用意向について

神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程の卒業生の採用意向について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「採用を検討したい」が 206 件（48.1%）と最も多く、次いで「採用したい」127 件（29.7%）、「採用は考えない」76 件（17.8%）、「無回答」19 件（4.4%）の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、333 件（77.8%）となっている。

家政学部管理栄養士養成課程の卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	127	29.7
2	採用を検討したい	206	48.1
3	採用は考えない	76	17.8
	無回答	19	4.4
	N (%ベース)	428	100



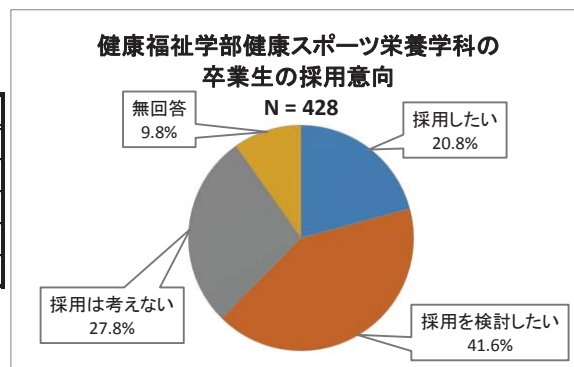
10-2 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の採用意向について

神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の採用意向について調査した結果、回答のあった企業等 428 件のうち、「採用を検討したい」が 178 件（41.6%）と最も多く、次いで「採用は考えない」119 件（27.8%）、「採用したい」89 件（20.8%）、「無回答」42 件（9.8%）の順になっている。

なお、「採用したい」、「採用を検討したい」の肯定的な回答を合算すると、267 件（62.4%）となっている。

健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	89	20.8
2	採用を検討したい	178	41.6
3	採用は考えない	119	27.8
	無回答	42	9.8
	N (%ベース)	428	100

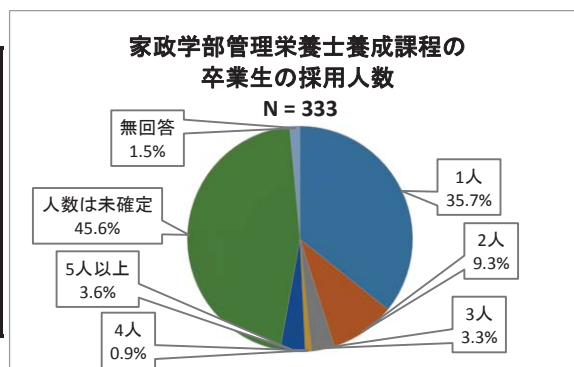


(11) 収容定員増を計画している学部・学科（課程）の卒業生の採用人数について
 11-1 家政学部管理栄養士養成課程の卒業生の採用人数について

「(10) 10-1 家政学部管理栄養士養成課程の卒業生の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 333 件に対して、神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 152 件（45.6%）と最も多く、次いで「1人」119件（35.7%）、「2人」31件（9.3%）、「5人以上」12件（3.6%）、「3人」11件（3.3%）、「無回答」5件（1.5%）、「4人」3件（0.9%）の順になっている。

家政学部管理栄養士養成課程の卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	119	35.7
2	2人	31	9.3
3	3人	11	3.3
4	4人	3	0.9
5	5人以上	12	3.6
6	人数は未確定	152	45.6
	無回答	5	1.5
	N (%ベース)	333	100

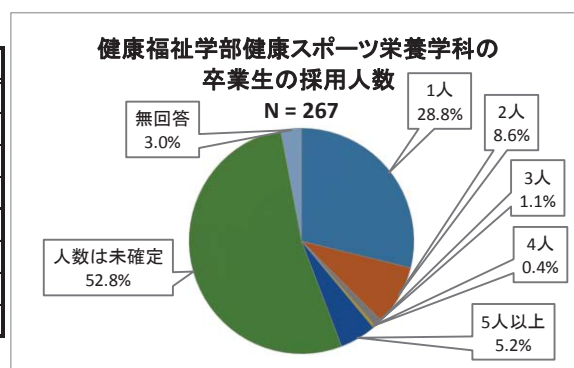


11-2 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の採用人数について

「(10) 10-2 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の採用意向について」で肯定的な採用意向を示した 267 件に対して、神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の将来的な採用人数について調査したところ、「人数は未確定」が 141 件（52.8%）と最も多く、次いで「1人」77件（28.8%）、「2人」23件（8.6%）、「5人以上」14件（5.2%）、「無回答」8件（3.0%）、「3人」3件（1.1%）、「4人」1件（0.4%）の順になっている。

健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	77	28.8
2	2人	23	8.6
3	3人	3	1.1
4	4人	1	0.4
5	5人以上	14	5.2
6	人数は未確定	141	52.8
	無回答	8	3.0
	N (%ベース)	267	100



3. 調査結果のまとめ

神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生に対する将来的な採用意向人数の集計にあたっては、「(10) 収容定員増を計画している学部・学科（課程）の卒業生の採用意向について」の肯定的な回答数と、「(11) 収容定員増を計画している学部・学科（課程）の卒業生の採用人数について」の将来的な採用人数の各選択肢（「1人」、「2人」、「3人」、「4人」、「5人以上」、「人数は未確定（※）」）を乗じ、これを合計し、算出した。

※「人数は未確定」とは、「(10) 収容定員増を計画している学部・学科（課程）の卒業生の採用意向について」にて、「採用したい」「採用を検討したい」と回答し将来的な採用意向は示すが、アンケートの時点では将来的な採用人数について確定していないものである。したがって、本調査では「人数は未確定」の将来的な採用人数を最低数である「1人」として計算した。

家政学部管理栄養士養成課程

下記の表より、神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、213人分となる。入学定員は150名であるため、1.42倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は438人となり、これは、入学定員150名に対して、2.92倍となる。

家政学部管理栄養士養成課程

回答数(件)	「採用したい」のみ		合計	
人数(人)				
1人(A)	33	(a)	(A) × (a)	33
2人(B)	16	(b)	(B) × (b)	32
3人(C)	11	(c)	(C) × (c)	33
4人(D)	2	(d)	(D) × (d)	8
5人以上(E)	11	(e)	(E) × (e)	55
人数は未確定(F)	52	(f)	(F) × (f)	52
無回答	2			

合計採用意向 213人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

回答数(件)	「採用したい」「採用を検討したい」の合計		合計	
人数(人)				
1人(A)	119	(a)	(A) × (a)	119
2人(B)	31	(b)	(B) × (b)	62
3人(C)	11	(c)	(C) × (c)	33
4人(D)	3	(d)	(D) × (d)	12
5人以上(E)	12	(e)	(E) × (e)	60
人数は未確定(F)	152	(f)	(F) × (f)	152
無回答	3			

合計採用意向 438人

健康福祉学部健康スポーツ栄養学科

下記の表より、神戸女子大学健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生に対する採用意向人数は「採用したい」のみで合計した場合、155人分となる。入学定員は80名であるため、約1.93倍の採用意向を確保できている。

また、「採用したい」「採用を検討したい」を合計した場合、採用意向人数は347人となり、これは、入学定員80名に対して、約4.33倍となる。

健康福祉学部健康スポーツ栄養学科

回答数(件)	「採用したい」のみ		合計
人数(人)			
1人(A)	19	(a)	(A) × (a) 19
2人(B)	13	(b)	(B) × (b) 26
3人(C)	3	(c)	(C) × (c) 9
4人(D)	1	(d)	(D) × (d) 4
5人以上(E)	12	(e)	(E) × (e) 60
人数は未確定(F)	37	(f)	(F) × (f) 37
無回答	4		

合計採用意向 155人

※採用人数が無回答であった場合は、計算から除外した

回答数(件)	「採用したい」「採用を検討したい」の合計		合計
人数(人)			
1人(A)	77	(a)	(A) × (a) 77
2人(B)	23	(b)	(B) × (b) 46
3人(C)	3	(c)	(C) × (c) 9
4人(D)	1	(d)	(D) × (d) 4
5人以上(E)	14	(e)	(E) × (e) 70
人数は未確定(F)	141	(f)	(F) × (f) 141
無回答	4		

合計採用意向 347人

以上の調査結果と、今回の調査対象以外の進路も考えられることから、神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の進路は十分に確保できるものとする。

調査票

**神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、
健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の入学定員増加（収容定員増）に係るアンケート調査**

- このアンケート調査は 2017 年 4 月に予定している神戸女子大学家政学部管理栄養士養成課程、健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の入学定員を増やす（収容定員増）計画の基礎資料とするため、貴社の採用状況・意向についてお聞きするものです。
- このアンケート結果は、統計資料としてのみ用い、目的以外に利用することはありません。
- 回答は、該当する番号を回答欄の □ の中へ直接記入してください。

★調査回答締め切りのお願い★

2015 年 12 月 18 日（金） までに、同封の返信用封筒にてご投函頂きますようお願いいたします。

【 貴社についてお聞きします 】

- Q1. 本社・支社・事業所等についてお聞きします。次の中から該当する番号を 1 つお選びください。 【回答欄】
1. 本社 2. 支社 3. 単独事業所
- Q2. 所在地についてお聞きします。次の中から該当する番号を 1 つお選びください。
※Q1 の「企業」で「1. 本社」以外を選択された場合は、その所在地をお答えください。
1. 兵庫県神戸市 5. 福井県 9. 岡山県 13. 香川県
2. 兵庫県神戸市以外 6. 富山県 10. 広島県 14. 愛媛県
3. 大阪府 7. 鳥取県 11. 山口県 15. 高知県
4. 石川県 8. 島根県 12. 徳島県 16. その他（ ）
- Q3. 業種についてお聞きします。次の中から最も当てはまる番号を 1 つお選びください。
1. 農業・林業 11. 漁業
2. 鉱業・採石業・砂利採取業 12. 建設業
3. 製造業 13. 電気・ガス・熱供給・水道業
4. 情報通信業 14. 運輸業・郵便業
5. 卸売業・小売業 15. 金融業・保険業
6. 不動産業・物品賃貸業 16. 学術研究・専門技術サービス業
7. 宿泊業・飲食サービス業 17. 生活関連サービス業・娯楽業
8. 教育・学習支援業 18. 医療・福祉
9. 複合サービス業 19. サービス業(他に分類されないもの)
10. 公務(他に分類されるものを除く) 20. その他(具体的に:)
- Q4. 昨年度に採用された人数について、該当する番号を 1 つお選びください。
(支社または単独事業所でお答えいただいている場合は、そちらでの採用数をお願いします) 番号でご回答ください
1. 0 名 3. 5～9 名 5. 20 名以上
2. 1～4 名 4. 10～19 名
- Q5. 今後の人材採用について、どのようにお考えですか。お考えに近い番号を 1 つお選びください。
1. 毎年、安定的に採用していくと思う
2. できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う
3. 毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う
4. 増員が必要になった場合に、採用を考える
5. 欠員が出た場合に、採用を考える
6. 当面、採用は行わないと思う
- Q6. 今後、人材の採用にあたり、どのような出身学歴（最終学歴）の方の採用をお考えですか。
「採用対象となる」と思われる番号を第 3 位までお選びください。
1. 大学院 第 1 位
2. 大学 第 2 位
3. 短期大学
4. 専門学校
5. その他（ ） 第 3 位



Q7. 人材を採用する際に、貴社ではどのようなことを重視していますか。該当する番号をお選びください（3つまで）。

1. 管理栄養士（栄養士）に必要な専門的知識・技術があること
2. 礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること
3. 円滑なコミュニケーション能力を備えていること
4. あらゆる場面で柔軟な対応ができること
5. 積極的に自立していること
6. 幅広い知識・教養を備えていること
7. 学び続ける探究心をもっていること
8. 意見の食い違いや立場の違いを理解する力があること
9. 自分と周囲の人々や物事の関係性を理解する力があること
10. その他（具体的に: _____）

〔 ここからは、同封の「神戸女子大学入学定員の変更計画の概要（構想中）」リーフレットを 〕
 ご覧になりながらお答えください

Q8. 神戸女子大学が入学定員を増やす（収容定員増）計画をしている学部・学科（課程）の社会的必要性について、どのようにお考えになりますか。学科（課程）ごとに、次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 社会的必要性が高い分野である | 4. 必要性はない |
| 2. 一応、社会的必要性を感じる | 5. わからない |
| 3. あまり必要性を感じない | 6. その他（具体的に: _____） |

a: 家政学部管理栄養士養成課程 b: 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科

Q9. 神戸女子大学が入学定員を増やす（収容定員増）計画をしている学部・学科（課程）の特徴や目指している事柄の中で、興味のあるものはどれですか。あてはまる番号をお選びください（それぞれ3つまで）。

1. 多くの学生が卒業時に栄養士及び管理栄養士国家試験受験資格を取得している。
2. 人々の食と健康を担う栄養士及び管理栄養士を養成している。
3. 消費者の視点から、食品の開発や流通を担う人材育成を目指している。
4. 教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している。
5. 実学主義を掲げ、実習・実験・演習主体のカリキュラムを編成している。
6. 社会から必要とされる最先端の研究に取り組んでいる。
7. その他（具体的に: _____）

a: 家政学部管理栄養士養成課程 b: 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科

Q10. 神戸女子大学が入学定員を増やす（収容定員増）計画をしている学部・学科（課程）の卒業生の採用意向についておたずねします。学科（課程）ごとに、次の中から該当する番号を1つお選びください。

- | | |
|-------------|--|
| 1. 採用したい | 1つでも1、2を選ばれた方はQ11へお進みください。
全て3を選ばれた方はQ12へお進みください。 |
| 2. 採用を検討したい | |
| 3. 採用は考えない | |

a: 家政学部管理栄養士養成課程 b: 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科

Q11. 神戸女子大学が入学定員を増やす（収容定員増）計画をしている学部・学科（課程）の卒業生を何人程度採用したいと考えますか。Q10にて「採用したい」「採用を検討したい」を選択した学科（課程）について、次の中から該当する番号を1つお選びください。

1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人以上 6. 人数は未確定

a: 家政学部管理栄養士養成課程 b: 健康福祉学部健康スポーツ栄養学科

Q12. 神戸女子大学が構想している入学定員を増やす（収容定員増）計画にあたり、ご意見、ご要望がありましたら、ご自由にお書きください。その他、大学の教育内容・活動等について、ご意見等ございましたら、あわせてご記入ください。

◆◆ 最後までご協力いただき、ありがとうございました ◆◆

学生納付金

	入学金	授業料	教養・施設充実費	合計
1 年 次	250,000	850,000	350,000	1,450,000
2 年 次 以 降	—	850,000	330,000	1,430,000
	—	850,000	400,000	1,250,000
	—	850,000	370,000	1,220,000



神戸女子大学入学定員の変更計画の概要（構想中）

対象：家政学部管理栄養士養成課程・健康福祉学部健康スポーツ栄養学科

<平成29年4月入学から適用予定>

学部学科名称	入学定員
文学部 ・日本語日本文学科 ・英語英米文学科 ・神戸国際教養学科 ・史学科 ・教育学科	60名 60名 40名 60名 165名
家政学部 ・家政学科 ・管理栄養士養成課程 3年次編入学定員	80名 140名 → 150名（予定） 20名 → 10名（予定）
健康福祉学部 ・社会福祉学科 ・健康スポーツ栄養学科	80名 60名 → 80名（予定）
看護学部 ・看護学科	80名

入学定員変更の理由

神戸女子大学は、栄養教育を大きな柱のひとつに位置づけています。
家政学部管理栄養士養成課程は、チーム医療の一員としても活躍できる質の高い管理栄養士を養成する課程として高い評価を受けています。
また、健康福祉学部健康スポーツ栄養学科は食育教育や健康維持などの栄養指導を行うスポーツ栄養士を育てる教育を行っています。
これらの栄養教育に関わる実績を活かし、地域社会に貢献するためにさらなる充実を図ります。



構想のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

※は選択制

家政学部管理栄養士養成課程		健康福祉学部健康スポーツ栄養学科
教育実習費	2週間実習 ※ 20,000 3週間実習 ※ 30,000	—
栄養教育実習費	1週間実習 ※ 10,000	10,000
介護等体験費 ※	10,000	—
留地実習費	60,000	—
(栄養)校外実習費(実習Ⅰ) ※	—	10,000
(栄養)校外実習費(実習Ⅱ) ※	—	10,000

● 学生納付金・学外実習費は予定であり、変更となる場合があります。



神戸女子大学
KOBE WOMEN'S UNIVERSITY

T 650-0046
神戸市中央区港島中町4丁目7-2
TEL: (078) 303-4937
学校法人行台学園 学園企画部学園企画課

構想のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。



家政学部管理栄養士養成課程の概要

食の多様化や少子高齢化、生活習慣病などが進む中、社会や教育、医療といった多様な分野で「食」が重視されています。そんな現状において、必要性が高まっているのが食のエキスパートである「管理栄養士」です。

本課程では、幅広い講義と現場さながらの実習、充実した設備等の環境を用意。高度な知識と技術を持ち、食の分野をリードする「管理栄養士」を養成します。

コンセプト

(※)：受験資格

- ・管理栄養士(※)
- ・栄養士
- ・栄養教諭1種免許状
- ・中学校教諭1種免許状(家庭)
- ・高等学校教諭1種免許状(家庭)
- ・フードスベシヤリスト(※)
- ・専門フードスベシヤリスト(※)
- ・食品衛生監視員
- ・食品衛生管理者

取得可能な資格

① 管理栄養士国家試験に毎年多くの合格者を輩出!

平成26年度の管理栄養士国家試験の合格者数は、全国6位の合格実績を誇ります。平成26年度は156名が受験し、150名が合格(合格率96.2%)しました。

② 資格取得を手厚くサポート!

管理栄養士養成課程では、平成14年より「管理栄養士養成対策室」が開設され、対策室は、臨地校外学習、国家試験対策の支援、卒業生とのネットワークを構築して、さまざまなサポートを行っています。



健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の概要

食を中心として調和の取れた適切な運動、栄養改善と体力の増強など、栄養と運動の両面から健康を追求する人材を養成します。

栄養学・食品学・衛生学・調理学をベースに、アスリートに对する食事・栄養指導などの専門知識を習得。

さらに、子どもたちの食育栄養教育や中高齢者の健康維持・介護予防など、幅広い知識とスキルの修得を図り、高い実践力と専門性を持つスポーツ栄養士などを育成します。



コンセプト



取得可能な資格

- ・栄養士
- ・栄養教諭二種免許状
- ・健康運動実践指導者(※)
- ・管理栄養士(実務経験1年以上)(※)
- ・フードスベシヤリスト(※)
- ・専門フードスベシヤリスト(※)
- ・実践健康教育士(卒業後講習および実務経験1年)(※)

(※)：受験資格

特色

① 「スポーツ」「食育」「健康維持」から総合的に学ぶ
スポーツ関連企業やクラブチーム(スポーツ)、幼稚園や保育所(食育)及び福祉施設(健康維持)と連携し、栄養士に付加する資格や専門を学べます。

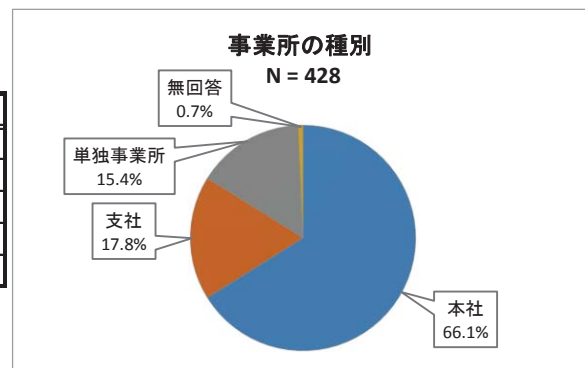
② 海外での研修プログラムから学ぶ
インドネシア・ドイツなどの海外研修で、栄養調査・研究を行い、国際的な視野を養うプログラムがあります。

構想中のため、掲載内容は予定であり、変更する場合があります。

単純集計表

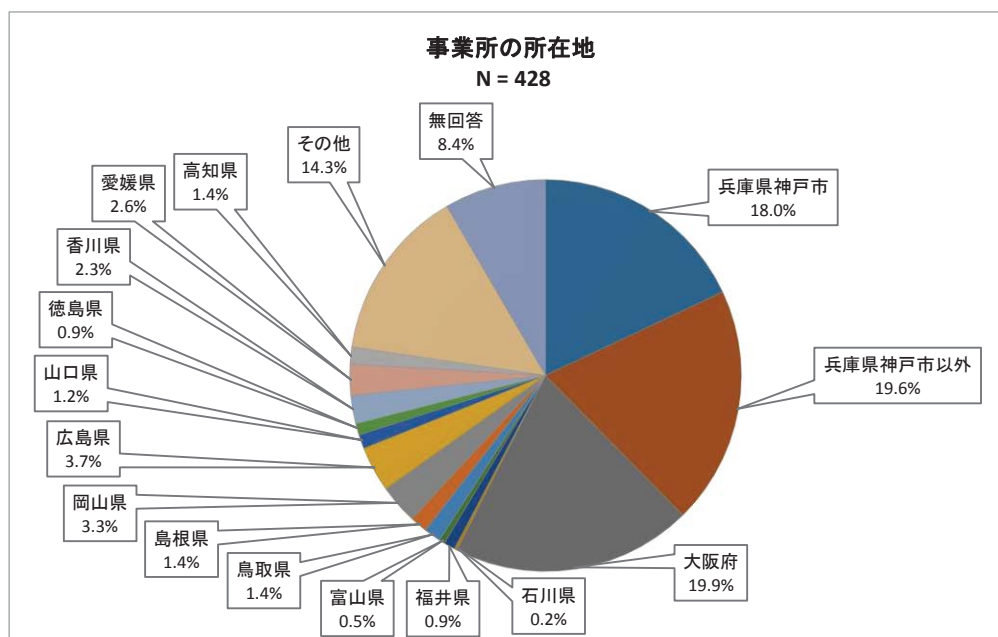
事業所の種別

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	本社	283	66.1
2	支社	76	17.8
3	単独事業所	66	15.4
	無回答	3	0.7
	N (％へ入)	428	100



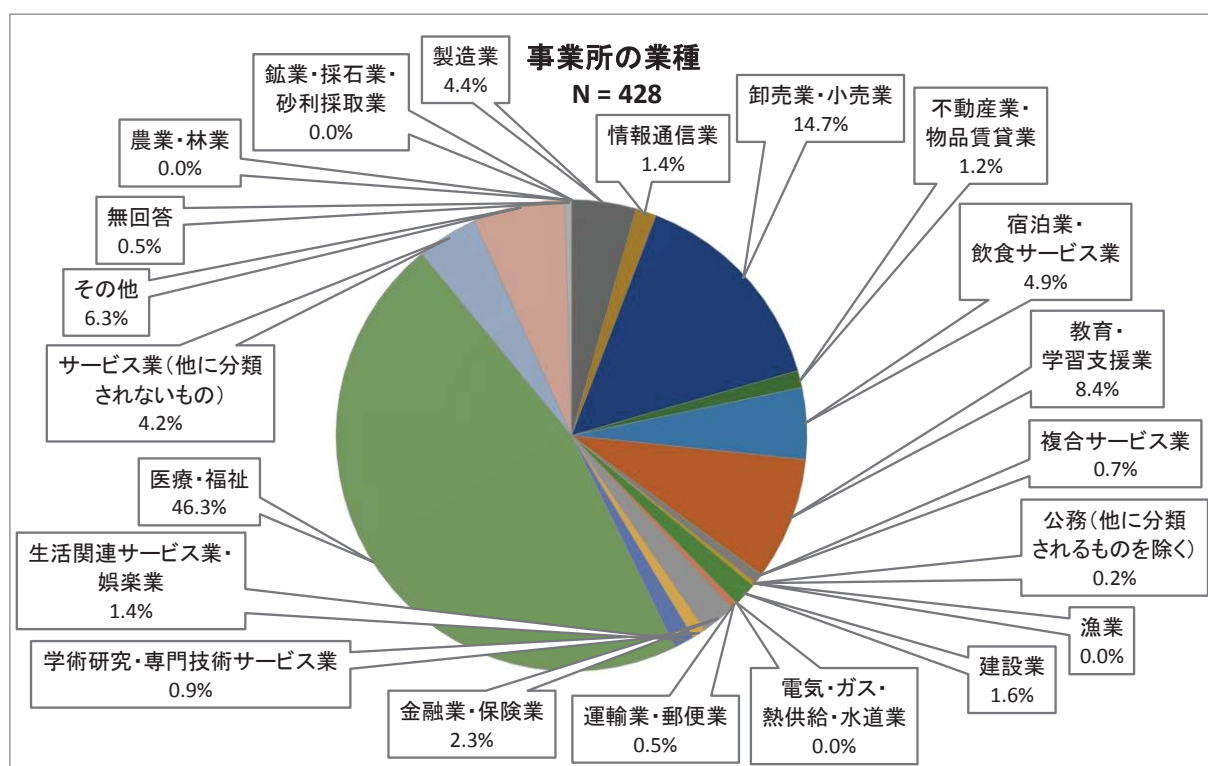
事業所の所在地

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	兵庫県神戸市	77	18.0
2	兵庫県神戸市以外	84	19.6
3	大阪府	85	19.9
4	石川県	1	0.2
5	福井県	4	0.9
6	富山県	2	0.5
7	鳥取県	6	1.4
8	島根県	6	1.4
9	岡山県	14	3.3
10	広島県	16	3.7
11	山口県	5	1.2
12	徳島県	4	0.9
13	香川県	10	2.3
14	愛媛県	11	2.6
15	高知県	6	1.4
16	その他	61	14.3
	無回答	36	8.4
	N (%ベース)	428	100



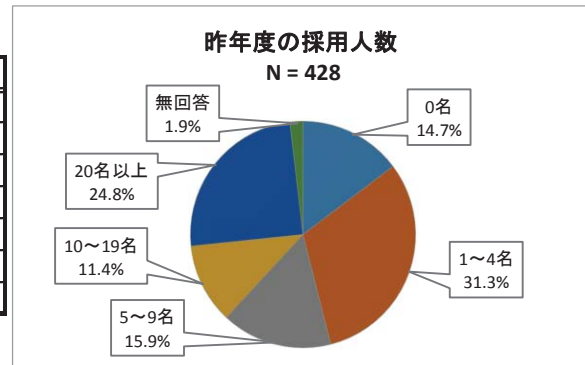
事業所の業種

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	農業・林業	0	0.0
2	鉱業・採石業・砂利採取業	0	0.0
3	製造業	19	4.4
4	情報通信業	6	1.4
5	卸売業・小売業	63	14.7
6	不動産業・物品賃貸業	5	1.2
7	宿泊業・飲食サービス業	21	4.9
8	教育・学習支援業	36	8.4
9	複合サービス業	3	0.7
10	公務(他に分類されるものを除く)	1	0.2
11	漁業	0	0.0
12	建設業	7	1.6
13	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0
14	運輸業・郵便業	2	0.5
15	金融業・保険業	10	2.3
16	学術研究・専門技術サービス業	4	0.9
17	生活関連サービス業・娯楽業	6	1.4
18	医療・福祉	198	46.3
19	サービス業(他に分類されないもの)	18	4.2
20	その他	27	6.3
	無回答	2	0.5
	N (%ベース)	428	100



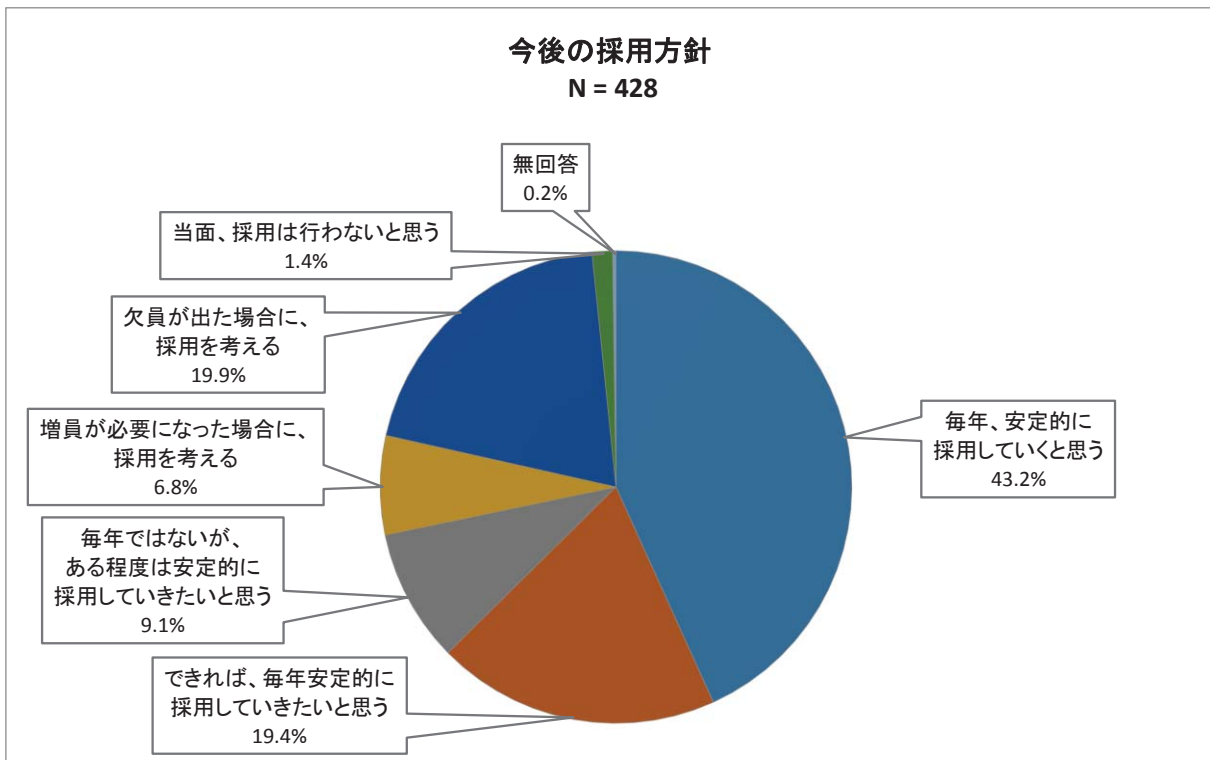
昨年度の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	0名	63	14.7
2	1～4名	134	31.3
3	5～9名	68	15.9
4	10～19名	49	11.4
5	20名以上	106	24.8
	無回答	8	1.9
	N (%ベース)	428	100



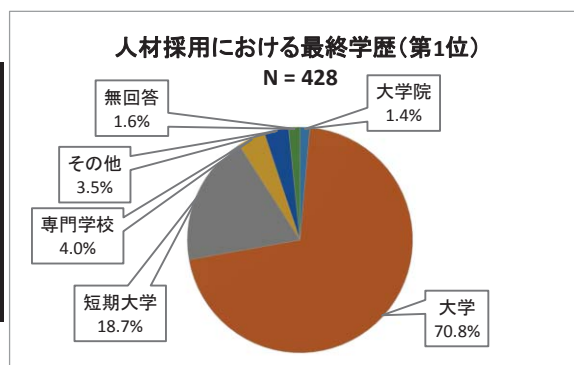
今後の採用方針

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	毎年、安定的に採用していくと思う	185	43.2
2	できれば、毎年安定的に採用していきたいと思う	83	19.4
3	毎年ではないが、ある程度は安定的に採用していきたいと思う	39	9.1
4	増員が必要になった場合に、採用を考える	29	6.8
5	欠員が出た場合に、採用を考える	85	19.9
6	当面、採用は行わないと思う	6	1.4
	無回答	1	0.2
	N (%ベース)	428	100



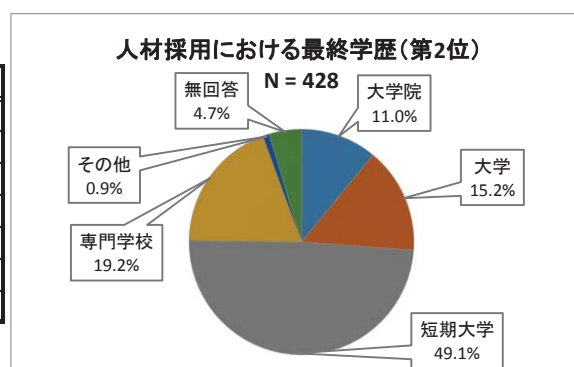
人材採用における最終学歴(第1位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	6	1.4
2	大学	303	70.8
3	短期大学	80	18.7
4	専門学校	17	4.0
5	その他	15	3.5
	無回答	7	1.6
	N (%ベース)	428	100



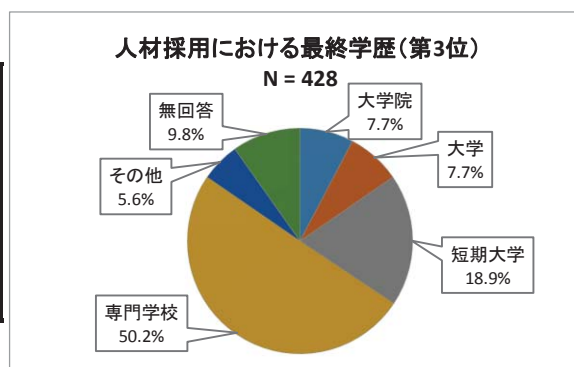
人材採用における最終学歴(第2位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	47	11.0
2	大学	65	15.2
3	短期大学	210	49.1
4	専門学校	82	19.2
5	その他	4	0.9
	無回答	20	4.7
	N (%ベース)	428	100



人材採用における最終学歴(第3位)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	大学院	33	7.7
2	大学	33	7.7
3	短期大学	81	18.9
4	専門学校	215	50.2
5	その他	24	5.6
	無回答	42	9.8
	N (%ベース)	428	100

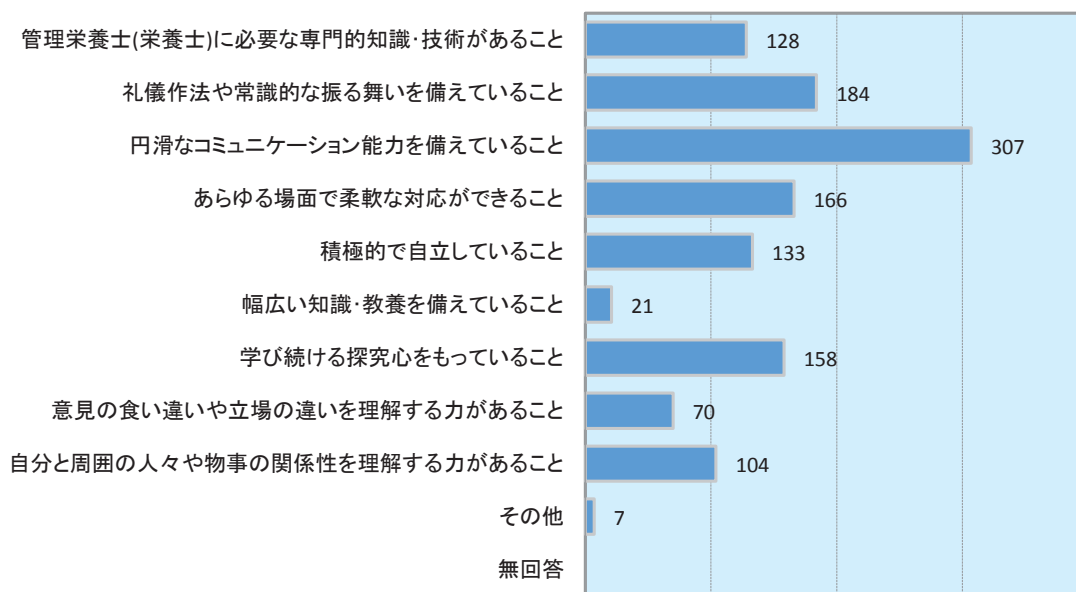


人材を採用する際に重視する点(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	管理栄養士(栄養士)に必要な専門的知識・技術があること	128	29.9
2	礼儀作法や常識的な振る舞いを備えていること	184	43.0
3	円滑なコミュニケーション能力を備えていること	307	71.7
4	あらゆる場面で柔軟な対応ができること	166	38.8
5	積極的で自立していること	133	31.1
6	幅広い知識・教養を備えていること	21	4.9
7	学び続ける探究心をもっていること	158	36.9
8	意見の食い違いや立場の違いを理解する力があること	70	16.4
9	自分と周囲の人々や物事の関係性を理解する力があること	104	24.3
10	その他	7	1.6
	無回答	0	0.0
	N (%ベース)	428	100

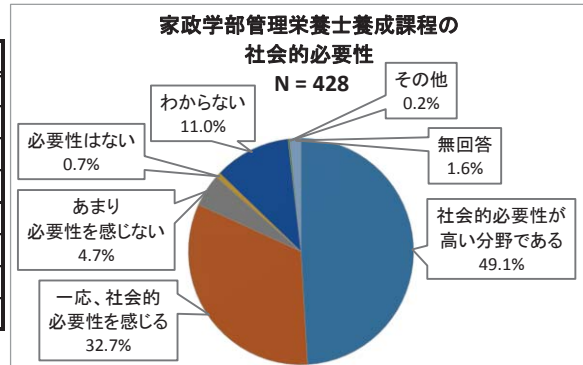
人材を採用する際に重視する点(複数回答)

N = 428



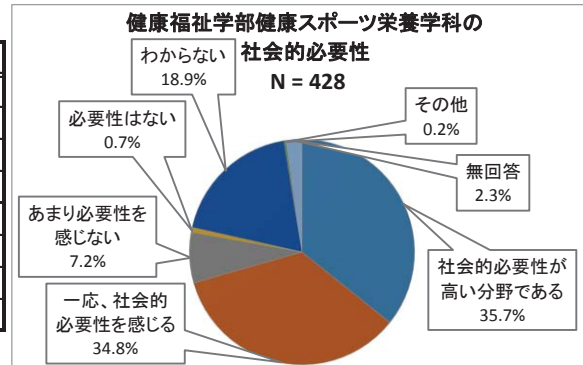
家政学部管理栄養士養成課程の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	210	49.1
2	一応、社会的必要性を感じる	140	32.7
3	あまり必要性を感じない	20	4.7
4	必要性はない	3	0.7
5	わからない	47	11.0
6	その他	1	0.2
	無回答	7	1.6
	N (%ベース)	428	100



健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の社会的必要性

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	社会的必要性が高い分野である	153	35.7
2	一応、社会的必要性を感じる	149	34.8
3	あまり必要性を感じない	31	7.2
4	必要性はない	3	0.7
5	わからない	81	18.9
6	その他	1	0.2
	無回答	10	2.3
	N (%ベース)	428	100

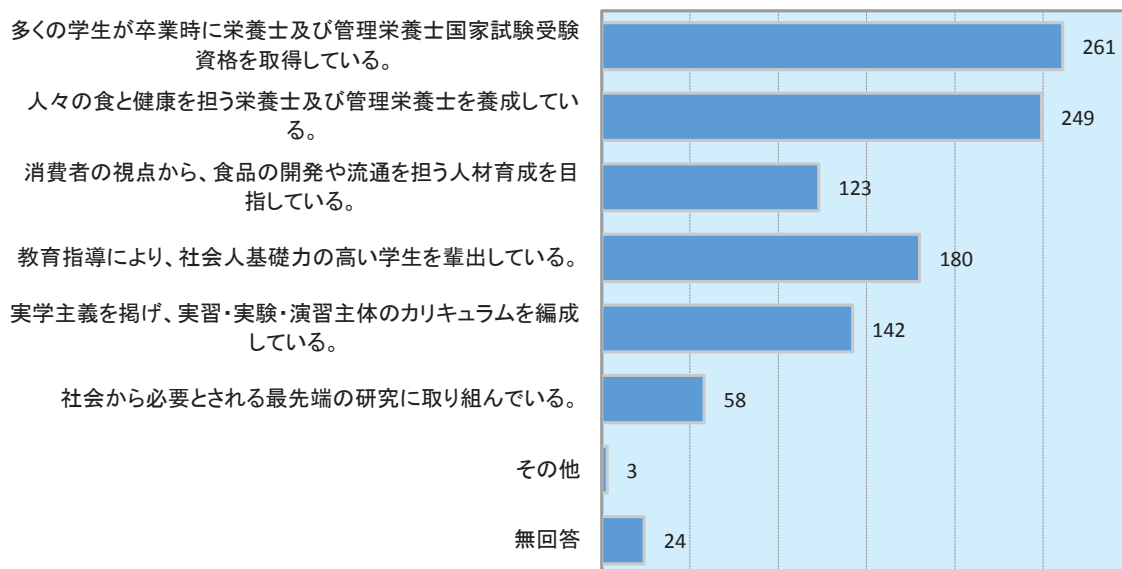


家政学部管理栄養士養成課程の興味のある特色(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	多くの学生が卒業時に栄養士及び管理栄養士国家試験受験資格を取得している。	261	61.0
2	人々の食と健康を担う栄養士及び管理栄養士を養成している。	249	58.2
3	消費者の視点から、食品の開発や流通を担う人材育成を目指している。	123	28.7
4	教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している。	180	42.1
5	実学主義を掲げ、実習・実験・演習主体のカリキュラムを編成している。	142	33.2
6	社会から必要とされる最先端の研究に取り組んでいる。	58	13.6
7	その他	3	0.7
	無回答	24	5.6
	N (%へ入)	428	100

家政学部管理栄養士養成課程の興味のある特色(複数回答)

N = 428

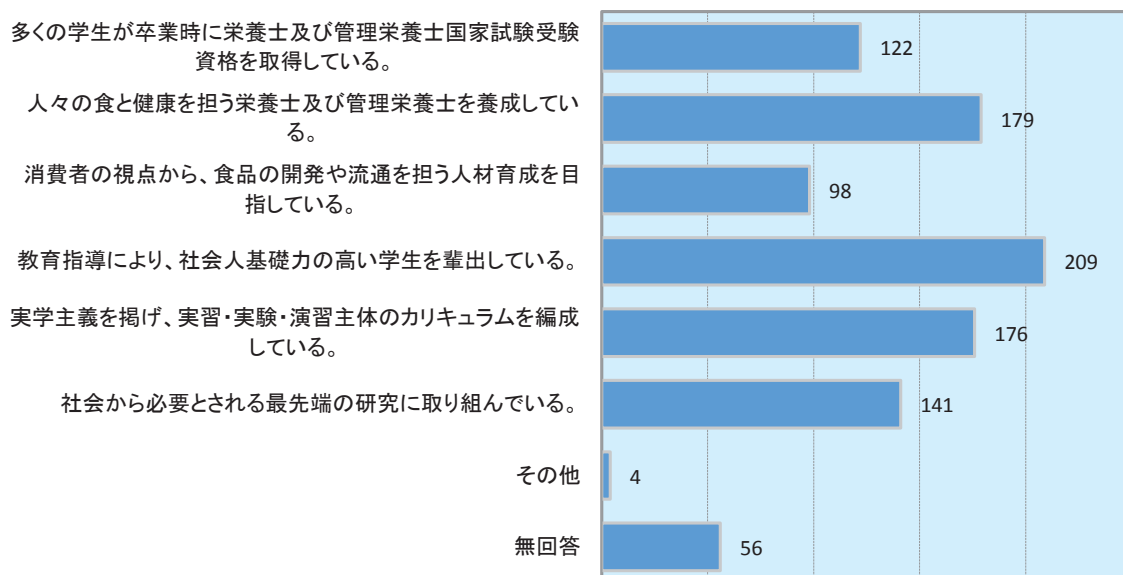


健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の興味のある特色(複数回答)

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	多くの学生が卒業時に栄養士及び管理栄養士国家試験受験資格を取得している。	122	28.5
2	人々の食と健康を担う栄養士及び管理栄養士を養成している。	179	41.8
3	消費者の視点から、食品の開発や流通を担う人材育成を目指している。	98	22.9
4	教育指導により、社会人基礎力の高い学生を輩出している。	209	48.8
5	実学主義を掲げ、実習・実験・演習主体のカリキュラムを編成している。	176	41.1
6	社会から必要とされる最先端の研究に取り組んでいる。	141	32.9
7	その他	4	0.9
	無回答	56	13.1
	N (%ベース)	428	100

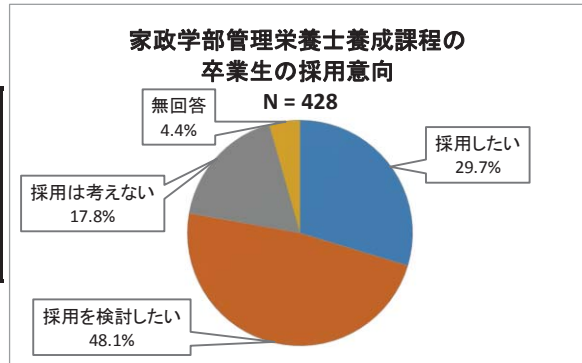
健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の興味のある特色(複数回答)

N = 428



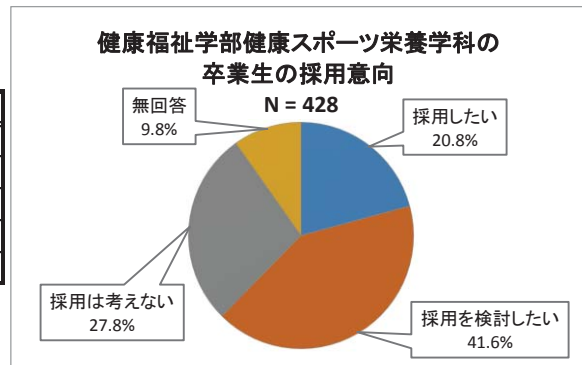
家政学部管理栄養士養成課程の卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	127	29.7
2	採用を検討したい	206	48.1
3	採用は考えない	76	17.8
	無回答	19	4.4
	N (%ベース)	428	100



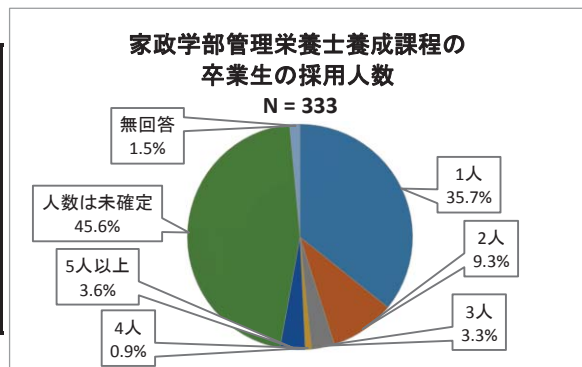
健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の採用意向

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	採用したい	89	20.8
2	採用を検討したい	178	41.6
3	採用は考えない	119	27.8
	無回答	42	9.8
	N (%ベース)	428	100



家政学部管理栄養士養成課程の卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	119	35.7
2	2人	31	9.3
3	3人	11	3.3
4	4人	3	0.9
5	5人以上	12	3.6
6	人数は未確定	152	45.6
	無回答	5	1.5
	N (%ベース)	333	100



健康福祉学部健康スポーツ栄養学科の卒業生の採用人数

No.	カテゴリ	件数	(全体)%
1	1人	77	28.8
2	2人	23	8.6
3	3人	3	1.1
4	4人	1	0.4
5	5人以上	14	5.2
6	人数は未確定	141	52.8
	無回答	8	3.0
	N (%ベース)	267	100

